

この本の特徴

このテキストは、中学受験をめざす新小学4年生のみなさんのための春期講習用教材として、読解力を身につけ、国語を学ぶために必要な知識を得るためにつくられたものです。4年生の春休みまでに学習する内容を基本から応用まで、わかりやすくまとめてあります。

この本の使い方

- ・例題…各単元で学習する内容を体系的に身につける問題です。「学習の要点」「考え方」を確認し、何を学習するのかをはつきりつかみながら解いてみましょう。
- ・学習の要点…各単元で学習する最も大切なことがらをまとめてあります。
- ・考え方…「例題」の解き方のポイントが書いてあります。
- ・基本問題…「例題」で学習したことがらをたしかめるための問題です。
- ・練習問題…「基本問題」より一歩進んだ問題です。じっくり時間をかけて解きましょう。
- ・知識問題…受験に必要な、おもに言葉に関する知識をまとめています。まとめをよく読み、問題を通して確実におぼえるようにしましょう。

もくじ
小4・国語

1	説明文 指示語と接続語……………	2
	かなづかい・送りかな・国語辞典の使い方……………	10
2	説明文 文ごとの役割・文と文のつながり……………	12
	漢字の画数・筆順・音訓……………	20
3	物語文 場面……………	22
	漢字の成り立ち・部首・漢和辞典の使い方……………	30
4	物語文 人物の気持ち……………	32
	主語と述語……………	40
	漢字トレーニング……………	42

例題

★ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

20 15 10 5

学習の要点

● 指示語（こそあど言葉）

「これ」「そこ」「あちら」「どの」など、事物・場所・方角や、その他いろいろなものを指し示す言葉。

● 指示語が指し示す部分（すぐ前にあることが多い）

(1) 台風（台風の）が来るかどうか、その進路が気になる。
（単語）

(2) いつか画家になりたい。
（文）

（それがわたしのゆめだ。）
（いつか画家になること。）

※ 指示語が指している部分をあてはめてみて、意味がおるかたしかめます。

● 接続語

前の文と後の文をつなぐ言葉。

前の文 接続語 後の文

・ わたしは毎日ピアノの練習をした。だから、上達した。

● 接続語の種類

(1) 順接（だから・そこで・したがって）

・ 雨がふってきた。だから、家で遊んだ。

理由 当然の結果

(2) 逆接（だが・しかし・ところが・けれども）

・ 雨がふってきた。しかし、試合は続けられた。

予想とちがう結果

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

(注) 類人猿…ヒトにもつとも近いサル類。ゴリラ・チンパンジー・オランウータンなど。
突然変異…ある集団の大多数とは異なる性質や特徴を持つようになること。

(稲垣栄洋「一晩置いたカレーはなぜおいしいのか」より)

25

問一 1 3 にあてはまる接続語を次から選び、それぞれ記号で答えなさい。

ア また イ ところが
ウ そして エ なぜなら

問二 線①「これ」とは、どんなことですか。それを説明した次の文の

A・B にあてはまる言葉を、文章中からそれぞれ二字で書きぬいて答えなさい。

熟していない果実は、葉っぱと同じ A をして目立たず、甘みはなく、むしろ B を持っているということ。

問三 線②「これ」が指す内容を二つ、文章中から八字と九字で書きぬいて答えなさい。

答えなさい。

問四 線③「それ」とは、何を指していますか。文章中から二字で書きぬいて答えなさい。

考え方

(3) 並列・添加 (また・さらに)

雨がふってきた。さらに、風もふいてきた。

前のことがらにつけ加える

(4) 選択 (または・それとも・あるいは)

テレビ、または、ラジオでお知らせします。

前と後のことがらのどちらかを選ぶ

(5) 説明 (なぜなら・たとえば・つまり)

花見は中止だ。なぜなら、雨がふりそうだからだ。

結果 理由

(6) 転換 (さて・では・ところで)

全員そろいましたね。では、始めましょう。

前のことがらと別の話

問一 空らんの前後をよく読んで、文と文のつながりを考えましょう。

1 は、前のことがらから当然の結果が、2 は、前のことがらと似た内容のことがらのつけ加えが、3 は、前のことがらとは反対のこと

がらが、それぞれ後につながっています。

問二 線①の直前の二文をまとめた内容を指しています。

指示語にあてはめてみて、意味がとおるかたしかめてみましょう。

問三 線②の指す内容が、「植物の果実が鳥と約束を

交わした色のサイン」(9行め)だとあります。

線②の前の部分に、二つのサインがのべられています。

問四 線③直後の「餌の色」とは、私たちの先祖であるサルが食べていた森の果実の色ということです。字数に合わせて書きぬきます。

1 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

(長谷川眞理子「恐竜は鳥に近い！ 進化の大研究

生物のひみつを探ろう」より)

問一 線①「それ」は、どんなことを指していますか。「生物が

くこと。」という形で、文章中の言葉を使って二十字以内で答えなさい。

生物が

こと。

問二 1・2 にあてはまる接続語を次から選び、それぞれ記

号で答えなさい。

ア だから イ または

ウ つまり エ しかし

1	
2	

問三 線②「それ」が指している内容を、次のようにまとめまし

た。A・B にあてはまる言葉を文章中から、Aは五字、

Bは六字で書きぬいて答えなさい。

A 以外にも、地球の歴史では、何回もの B があつたこ

問四 線③「たとえば」の接続語の働きを次から選び、記号で

答えなさい。

ア 前のことがらと後のことがらのどちらかを選ぶ。

イ 前のことがらの具体例を後で説明する。

ウ 前のことがらとは別の話に変える。

エ 前のことがらと反対の内容が後にくる。

--

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

(注) 気孔：陸上植物の葉の表面にある小さなあな。ガス交換や水分の放

出（蒸散）じょうさんなどを行う。

細胞：生物の体を構成する、ごく小さな基本単位。

問

号で答えなさい。

1	2
---	---

にあてはまる接続語を次から選び、それぞれ記

ア　ところか
ウ　なぜなら

イ　つまり
エ　すると

- 1
- 2

問

線①「また」の接続語の働きを次から選び、記号で答えなさい。

ア 前のことがら^が理由となり、当然^{どうぜん}の結果^{けつ}が後にくる。

イ 前のことがらと後のことがらのちがい^ををくらべる。

ウ 前のことがらの原因や理由^をを後で説明する。

工 前のことがらにならべたり、つけ加えたりする。

問

——線②「そんなところ」とは、どんなところですか。文章から二つ、それぞれ十五字前後で書きぬいて答えなさい。

問四

た。 — 線③「これ」が指している内容を、次のようにまとめました。

A	・	B
---	---	---

にあてはまる言葉を文章の中から、Aは八字、

Bは二字で書きぬいて答えなさい。

水分はあっても養分のすくないところで育ち、土からの養分吸収があてにならないため、空をとぶ虫や、水中をおよぎまわるプランクトンを直接 **A** ということを自然と身につけた **B**。

A

B

1 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

20 15 10 5

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

45 40 35 30 25

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

(川北亮司「里山で木を織る 藤布がおしえてくれた宝物」より)

問一

1 3 にあてはまる接続語を次から選び、それぞれ記号で答えなさい。ただし、同じものは二度選べません。

ア ところが イ また
ウ たとえば エ さて

1	2	3
---	---	---

問二

線①「それ」が指しているものを文章中から二十字で書きぬいて答えなさい。

問三

線②「このような」とは、何を指していますか。「布の特徴。」につながる形で、文章中の言葉を使って、二十字以内で答えなさい。

布の特徴。

問四

線③「繊維の性質」とありますが、自然繊維の性質としてふさわしいものを次から二つ選び、記号で答えなさい。

問五

線④「それ」が指している内容を、次のようにまとめました。A・B にあてはまる言葉を、Aは六字、Bは五字でそれぞれ文章中から書きぬいて答えなさい。

ア 虫がつきにくく、しわになりにくい。
イ 保温性がよく、弾力性があるものもある。
ウ じょうぶで、しわになりにくい。
エ もともとの材料で布の性質が決まる。
オ どの材料の繊維でも性質は変わらない。

た。A・B にあてはまる言葉を、Aは六字、Bは五字でそれぞれ文章中から書きぬいて答えなさい。

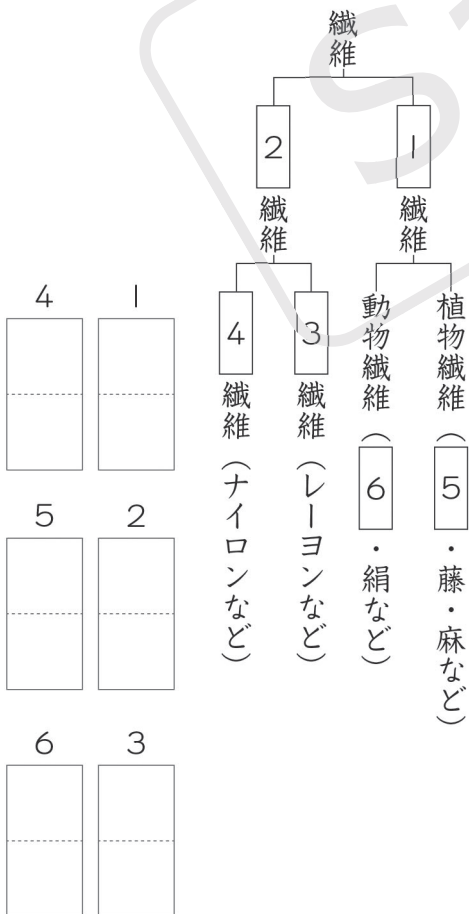
合成繊維の衣服は、たくさんの人にAを目的に、工場で大
量生産されているので、できるだけ多くの人にBをする必要
がある。

A

B

問六

本文に出てくる繊維の種類について次のようにまとめました。
表の1 6 にあてはまる言葉を、漢字二字でそれぞれ文
章中から書きぬいて答えなさい。



次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

中国には、砂漠から風で飛ばされてきた黄砂が積もった黄土高原という高原があります。砂漠化が進むこの黄土高原に草や木の緑を回復させ、植物の力を借りて砂漠化をおさえようという「黄土高原緑化日中プロジェクト」に、宇都宮大学の教授である一前さんは、砂漠化をおさえる雑草の発見を目指して参加しました。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

20

15

10

5

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

45

40

35

30

25

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

75 70 65 60 55 50

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

(注) 廃墟…住む人がいなくなつて、あれはてているところ。
開墾…山や野を切り開いて田や畑にすること。
浸食…土地をけずりとっていくこと。

(高橋秀雄「黄砂にいどむ——緑の高原をめざして」より)

問一 1 3 にあてはまる接続語を次から選び、それぞれ記号で答えなさい。ただし、同じものは二度選べません。

ア だから イ しかし ウ 例えば エ また

1 ☐ 2 ☐ 3 ☐

問二 線部「二〇〇〇年前の漢の時代は、森と草原が広がっていました」とありますが、現在、黄土高原が砂漠化している理由をまとめて二つ書きなさい。

●かなづかい

ふだん使っている言葉を「かな」で書き表すときは、だいたい発音どおりに書きますが、次の点に注意しましょう。

(1) 「何は・何へ・何を」の「は・へ・を」は、「ワ・エ・オ」と発音しますが、「わ・え・お」とは書きません。

例 ぼくは本屋へ参考書を買に行った。

(2) 「ジ・ズ」と発音するものは、ふつう「じ・ず」と書きますが、次の場合は「ぢ・づ」と書きます。

・二つの言葉が合わさってできた言葉

例 鼻+血⇨鼻血（はなぢ） 三日十月⇨三日月（みかづき）

・同じ音が重なっている言葉

例 縮む（ちぢむ） 続く（つづく）

(3) 長音（長くのばす音）は、「あ・い・う・え・お」をつけます。

例 ニーサン↓にいさん オードーグ↓おおどうぐ（大道具）

●送りがな

送りがなとは、漢字を訓読みするときに、読みまちがえないようにするために、漢字の下にそえる「かな」のことです。たとえば、「当る」では、「あたる」と読むのか、「あてる」と読むのかわかりません。そこで、「当たる」「当てる」と書いて区別しているのです。送りがなのつけ方は、例外が多く、一つ一つの漢字について覚えていくことが大切ですが、次の点に注意しましょう。

(1) 形のかわる（活用する）言葉は、原則として言葉の終わりの形がかわる部分から、ひらがなで送りますが、「しい」「か」「やか」「らか」などを送るものもあります。

例 読む 広い 美しい 急だ 清らかだ

(2) 名前を表す言葉は、原則として送りがなをつけませんが、まちがえやすいものや、形がかわる（活用する）言葉からできたものの中には、送りがなをつけるものもあります。

例 山 光 前 答え 重み 後ろ

(3) 次のような種類の言葉は、最後の音を送ります。

例 最も 必ず 少し 再び

(4) まちがえやすい言葉は、区別できるように送ります。

例 「上がる」・「上る」 「細い」・「細かい」

●国語辞典の使い方

国語辞典で言葉の意味や使い方を調べることは、国語の学習を進めるうえで、基本となるものです。正しい使い方を身につけましょう。

(1) 五十音順に言葉がならんでいますが、原則として、次の点に注意しましょう。

・最初の文字が同じときは二番目の字が、二番目の字も同じときは三番目の字が、五十音順になっています。

例 下位（かい）↓海水（かいすい）↓回数（かいすう）

・清音↓濁音↓半濁音の順になっています。

例 母（はは）↓馬場（ばば）↓パパ

(2) 形のかわる（活用する）言葉は、言い切りの形で出ています。（最後の「だ」はのぞく）

例 読まない↓読む 重からう↓重い

明らかだった↓明らか

(3) 一つの言葉に二つ以上の意味がある場合は、文脈を考えて、最もふさわしい意味を選びます。

問一

次の(1)～(8)について、正しいかなづかいはどちらですか。それぞれ記号で答えなさい。

- (1) ミカンを（ア 一つづつ イ 一つずつ）配る。
 (2) 線路は（ア つづく イ つづく）よ、どこまでも。
 (3) 新学期が（ア 近づいて イ 近づいて）きました。
 (4) 試合に勝って（ア だしん イ じしん）がいった。
 (5) （ア おねいさん イ おねえさん）が本を読んでいる。
 (6) （ア ろうそく イ ろおそく）に火をつける。
 (7) （ア おうさま イ おおさま）が国を治める。
 (8) （ア とうく イ とおく）の山がよく見える。

(1)	(2)
(3)	(4)
(5)	(6)
(7)	(8)

問二

次の(1)～(6)について、正しい送りがなのものを選び、記号で答えなさい。

- (1) すくない （ア 少くない イ 少ない ウ 少い）
 (2) みじかい （ア 短じかい イ 短かい ウ 短い）
 (3) うまれる （ア 生まれる イ 生れる ウ 生る）
 (4) あらわす （ア 表らわす イ 表わす ウ 表す）
 (5) きこえる （ア 聞こえる イ 聞える ウ 聞る）
 (6) ながれる （ア 流がれる イ 流れる ウ 流る）

(1)	(2)
(3)	(4)
(5)	(6)

問三

次の(1)～(6)の言葉を、送りがなに注意して、漢字とひらがなで書きなさい。

- (1) むかう
 (2) おこなう
 (3) くるしむ
 (4) さいわい
 (5) あたらしい
 (6) しらべる

(1)	(2)
(3)	(4)
(5)	(6)

問四

次の各組の言葉を国語辞典に出ている順に記号で答えなさい。

- (1) ア ねこ イ いね ウ たぬき エ かつぱ
 (2) ア ひらめ イ まぐろ ウ めだか エ にしん
 (3) ア 公開 イ 公害 ウ 校歌 エ 号外

(1)	(2)	(3)
↓	↓	↓
↓	↓	↓
↓	↓	↓

問五

次の(1)～(3)で使われている「知る」の意味としてふさわしいものを後から選び、それぞれ記号で答えなさい。

- (1) 一を聞いて十を知る。
 (2) この中にあなたの知り合いはいますか。
 (3) そこにあるとは知らなかった。
 ア 理解する
 ウ 通知する
 イ 気がつく
 エ つきあいがある

(1)
(2)
(3)